

V. 「伊那谷まるごと博物館」とは何か

「伊那谷まるごと博物館」とは、伊那谷が誇る自然、歴史、文化のすべてを屋根のない博物館とみたと、研究し、保存し、地域のために活用していくエコミュージアム運動の一つである。これは伊那谷自然友の会の中心メンバーが 1970 年代からこの伊那谷を「屋根のないまるごと博物館」として捉え、現地でそのまま保存し学習しようと考えたことに端を発する活動である。これが伊研協全体の活動として取り上げられ、それまでの自然保護分野の活動から、歴史・文化を含む総合学術分野の活動に広げられた。そして、この土地に住み地域で生産活動に携わる人びとが『学芸員』となって、豊かな自然・歴史・文化を探究し、伊那谷全体を総合博物館として永久に残していこうと考えるものである。そして、この「伊那谷まるごと博物館」構想を支える学問こそが「伊那谷学」である。